



学校経営理念：共に高まり合う熊三小 学校文化の創造

Kumasan

平成29年2月20日
学校だより 第12号
熊野第三小学校
校長 平岡 弘資
HP <http://kuma0316.ec-net.jp>

☆ 挨拶は心をつなぐ

今年の冬はよく雪が降りましたが、節分を過ぎ、陽射しに春を感じるようになりました。4月から続けている朝正門での出迎えで、四季の変化を身近に感じ取ることができます。

先日朝の正門で二日続けて高学年男子に同じようなことを言われました。6年男子「寒いのお疲れ様です。」5年男子「毎日大変ですね。お疲れ様です。」私「ありがとう。でも楽しいよ。」とその時応えましたが、その後いろいろ考えてみました。本当に朝正門での30分間はあっという間に過ぎる楽しい時間です。確かにいつも明るく元気に挨拶し合うばかりではありません。時には返事がない時や暗い顔の時もあります。涙が出ていることもあります。そんな時はこちらも悲しく暗い気持ちになります。気になって担任に話をすることもあります。しかしその後少しでも表情良く挨拶できるとこれはこれは気持ちは晴れやかになります。朝の挨拶はこの繰り返しで、少しずつ心がつながっていくのだと感じています。3学期になり、毎日ある1年女子が立ち止まって「校長先生、おはようございます。」と頭を下げて大きな声で挨拶してくれます。「良い挨拶ができるね。ありがとう。」と返します。担任に聞くと全校朝会で指導されたことを頑張っているとのこと。本当に明るい気持ちになります。挨拶の形についても指導することの大切さを感じました。またある6年女子はいつもそんなに大きな声ではありませんが、すごく自然な明るい笑顔で爽やかに挨拶してくれます。これもすごく明るい気持ちになります。あるいは自転車に乗った中学生が気持ちよく挨拶をしてくれると「行ってらっしゃい。」と気持ちよく応えることができます。挨拶を通して明るく楽しく1日がスタートできること。これがあから朝の30分間があっという間に過ぎるのだと思います。心をつなぐ挨拶。朝の正門は私にとって至福の時間です。

あと一月余りで本年度も終わります。6年生は卒業に向けてラストスパートです。そんな6年生に下級生からのハッピーカード、サンキューカードが届いています。心が温かくなります。

別件追記。5月号において正門で急に出てきてぶつかりそうになった子が「やっぱり！校長先生の匂いがしたと思った。」と言ったことを紹介しました。先日あったミニバスケ大会に向けての放課後練習後の話。基準服を探している6年女子が一つの基準服を見つけて匂いを嗅いでいます。6年女子「これは〇〇のじゃ。」私「匂いで誰のか分かるん？」6年女子「普通に分かりますよ。」子供の臭覚には驚きました。



☆ 三村町長 による 出前講座

2月15日(水)、三村裕史町長に来ていただき、熊野町の人口や行政・財政・防災・環境等についての取組や書道用具を生産する都市との交流などについてお話をいただきました。6年生は、メモを取りながら一生懸命聞いていました。最後に、質問をし、こんな熊野町になったらいいなという考えを書いた文書を町長に受け取ってもらいました。



※裏面に、すこやか朝会の様子・3月の行事予定を掲載しています。ご覧ください。

☆ すこやか朝会（なわとび）

2月最初のすこやか朝会。寒さの負けず、全校児童がなわとびをしました。



なわとび検定に向けて、一人一人目標をもってがんばります。検定の中でも、難しい技を体育委員会の児童が、見本を見せてくれました。さすが5・6年生です。



地域テーマ募金にご協力をお願いします。

プリントでもお知らせしましたが、彼岸船の補修やはっぴのクリーニング、横断幕の作成、学校緑化、地域行事等での活用を予定しています。

学校・保護者・地域が一体となって子供たちを育てていきたいと考えます。

ご協力よろしくをお願いします。